

地域おこし協力隊 活動レポート vol.9

申し込み・問い合わせ ミクスポ (市文化・スポーツ振興事業団) ☎23-7080

初のダンスワークショップ開催!

11月30日(土)、市総合体育館で子どもたちに向けたクリエイティブダンスのワークショップを開催しました!名前でダンスを作るワークでは、「一体名前をどう動きに!?!」という心の叫びが聞こえるようでしたが、だんだん自分のイメージを膨らませ、表現しようとする姿は感動的でした。

最後は、保護者の前で短いパフォーマンスを披露。子どもたちの秘めた可能性を発見することができました。

みとよ ダンス クリエイターズ
MITOYO DANCE CREATORS! 参加者募集!

ダンスはもちろん、演劇・音楽・美術などを融合した作品をみんなで創って発表します。まずは、2月から子どもと高齢者を対象に始動します。

詳細などは、ミクスポまでお気軽にお問い合わせください!

今月の担当は
まえの よりこ
前納 依里子
(地域スポーツ振興)



三豊市青少年健全育成市民会議 令和6年度「家族ふれあい・あいさつ運動・わたしの夢」 絵画・標語の優秀作品

※敬称略

最優秀賞



中学校の部 詫間中学校2年 則久 海舟

最優秀賞



小学校・高学年の部 大見小学校6年 竹内 暖

最優秀賞



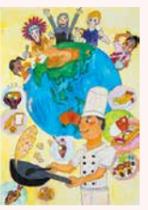
小学校・低学年の部 仁尾小学校2年 眞鍋 瑠玖

優秀賞



中学校の部 三野津中学校1年 荒木関 さくら

優秀賞



小学校・高学年の部 上高瀬小学校5年 小山 航汰

優秀賞



小学校・高学年の部 大見小学校4年 竹内 旭

優秀賞



小学校・低学年の部 本山小学校2年 高崎 七海

優秀賞



小学校・低学年の部 比地小学校2年 近藤 智暉

最優秀賞

『空曇り 元気なあいさつ 心晴れ』
中学校の部 豊中中学校2年 岩原 虎我

『足のうら 大きさをくらべ 父とおれ』
小学校の部 詫間小学校3年 江口 玖蘭

優秀賞

『ありがとう いつも伝えたい 両親に』
中学校の部 和光中学校3年 大喜多 絢斗

『土の中 ぼくが見つける しんきょうりゅう』
小学校の部 山本小学校3年 石神 匠

『ぎゅーおいで ぱぱもママも あたたかい』
小学校の部 財田小学校1年 大西 吏槻

▶問い合わせ 少年育成センター ☎73-3150

健康ひとくちメモ

冬こそ、特定保健指導を利用しましょう!

寒い冬は、室内で過ごす時間が多くなり、つつい「食」の誘惑が増えて、内臓脂肪が増えやすくなります。過剰に増えた内臓脂肪から出る悪玉ホルモンは、血管の動脈硬化を進行させ、放っておくと糖尿病や高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病を発症する危険性を高めます。生活習慣病は、発症しても自覚症状がありません。おなか周りが気になったら、生活習慣を見直すタイミングです。

特定保健指導の案内が届いたら

特定健診の結果で生活習慣病のリスクが高い人には、特定保健指導の案内を送付しています。特定保健指導は、医師・保健師・管理栄養士などの専門職と一緒に、健診結果と生活習慣を振り返り、自分のライフスタイルに合った目標を、約3カ月間実践してみるという短期集中プログラムです。

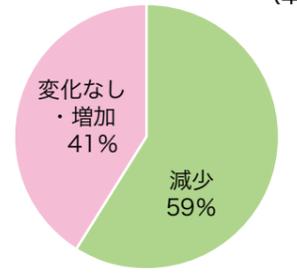
市が実施する特定保健指導を受けた人の半数以上が、次年度には体重が減少していました。内臓脂肪が減ると体重が減ると、腹囲も減り、健診結果の数値も改善します。

自分のため、家族のために、できるだけ長く元気で過ごせるように、特定保健指導をきっかけに、何気ない毎日の生活習慣を少し意識してみましょう。

特定保健指導の案内通知が届いたら、ぜひお申し込みください。

▶申し込み・問い合わせ 健康課 ☎73-3014

R4年度特定保健指導参加者 体重の変化 (単位:%)



変化なし・増加 41%

減少 59%

じんけん探訪 109

誰もが安心して暮らせる 豊かな共生社会の実現のために

障害者差別解消法の施行により、障がいのある人に対する理解は、次第に深まってきているものの、今もなお、社会的な障壁があり、障がいのある人は暮らしにくさを感じています。

その社会的な障壁(バリア)には、点字ブロックの上にある自転車のように、利用する人に不便さを感じさせるなどの「物理的なバリア」や、社会のルールや制度によって力を出す機会を奪われるなどの「制度的なバリア」、心ない言葉や偏見、差別、無関心、受け入れられないなどの「意識上のバリア」などが指摘されています。

こうした障壁を取り除くには、バリアを感じている人の身になって考え、行動を起こす「心のバリアフリー」が大切です。一昨年、新聞に「児童が失明男性のバス通勤支えた10年」の記事が掲載されました。「児童は毎日、バスの乗降の際に視覚障がいのある人を誘導し、その役割はリレーのように数多くの在校生に受け継がれてきた」という内容です。

この児童のように自分にできる柔軟な優しい対応が大切です。

一人ひとりの優しさで、社会的障壁(バリア)を取り除き、誰もが安心して暮らせる豊かな共生社会を構築していきましょう。

▼問い合わせ 学校教育課 ☎73・3131

